

一西だより



豊川市立一宮西部小学校通信
令和 8 年 7 月 15 日 第10号
発行 校長 村上謙一

【創立120周年の夏に】

学校には創立から現在までを記録した「沿革史」があります。その記録のされ方に違和感があるのが昭和20年8月7日です。動員された本校の児童にも犠牲が出たその日の記録です。

戦時下の情報統制のためか、その日の記録は故意に抜け落ちていて、後に書き込まれたように見えます。「8月7日 豊川海軍工廠空爆を受く 本校より出勤学徒 ○○ ○○ ○○、3名行方不明」その字は乱れています。この事実を書き残さないわけにはいかない。そんな決意が込められているようでもあります。

当時の卒業生が記した別の出版物「今も残る傷跡」には、豊川海軍工廠に落ちる爆弾をその場で経験した記述の後に、「・・・2度とこのような悲しいことのないよう、平和を願っています。同級生戦没者名」として上記の3名の他にもうお一人のお名前が記されています。

昭和100年(※数えでは昨年が昭和100年)の今年が一西小の120周年です。豊川市の歴史と豊川海軍工廠^{こうしょう}は深いつながりがあります。本校に学んだ子どもが犠牲になった悲しい歴史でもありますが、この夏あらためてご家族で「豊川海軍工廠平和公園」に足を運んで、当時を振り返ってみてはいかがでしょうか。

戦争により犠牲となられた方々のご冥福をお祈りいたします。合掌。

【講演会のご紹介】

令和6年4月に本校でご講演をいただいた木村泰子先生が再び豊川市にお越しになります。豊川市教育委員会の後援です。本校が取り組む「主体性と当事者意識」「自分がつくる学校」等の考えについて、わかりやすくお話しいただけます。よろしければ一緒にどうぞ。

「みんなもできる! みんなの学校」のつくり方 vol.2

木村泰子 トークセッション & フォーラム

1部 木村泰子トークセッション
泰子さんと豊川市が主体的・当事者性を果たし、これからの学校について語り合う。

講師 木村 泰子 氏
大阪市立大空小学校初代校長
大空町生まれ。大空小学校では「すべての子どもの学習権を保障する」という信念のもと、教職員や地域の大人たちとともに障害の有無にかかわらず、すべての子どもが「いっしょに」学ぶ。2015年には大空小学校の1年間の追ったドキュメンタリー映画「みんなの学校」が公開、大きな反響を呼んだ。

2部 木村泰子×酒井雄基 フォーラム
泰子さんと「豊川市」酒井氏が「大空小」と豊川の学校、教育の違いについて対談する。

パネリスト 酒井雄基 氏
元豊川市立平尾小学校教諭
兵庫県出身。学生時代、木村泰子校長とともに大阪市立大空小学校で5年間のボランティア経験を経て、教員として同校に6年勤務。「みんなの学校」の理念のもと、一人一人を大切にすると教育実践に携わる。その後、豊川市に移り、豊川市平尾小学校に4年勤務し、R8年度より尾張地区の中学校へ。

開催/2026年9月12日(土) 13時~

会場/豊川市勤労福祉会館(豊川市新道町1-1-3)
主催/NPO法人グッドネイバー
後援/豊川市教育委員会
参加費/1,000円
問い合わせ/
goodneighbor@toyokawa@gmail.com
スケジュール
13:00~14:00 木村泰子 トークセッション
14:10~15:10 木村×酒井 フォーラム

参加申し込み フォーム

グッドネイバー Instagram

※駐車場に限りがありますので乗り合わせでの会場をお願いたします。

【民生児童委員と語る会】

7月7日(火)、校区の民生児童委員の皆さんにお越しいただき、学校や地域の様子を確認しました。地域の未来を担う、地域の宝である子どもは、地域の力で育てる。学校教育の当事者として動かれている皆さんです。

【みんなで絵をかこうプロジェクト】

7月8日(水)、9日(木)の2日間、絵をかくことが大好きなみんなが昼放課に集まって、楽しむプロジェクトが開かれました。